

フランスとイギリス の登山研修施設について ENSA vs. Plas-y-brenin

関西大学総合情報学部
青山千彰



欧米での調査研究の背景

- 筆者は2007年4月～7月終わりまで、関西大学の在外調査研究員として、「欧米における山岳遭難の現状とレスキュー活動の実態」に関する調査活動を実施した。
- 安全検討会から依頼のフランス、イギリスの登山研修所については、その途中に立ち寄ったENSA, Plas-y-breninに関する調査内容を紹介する。ただし、訪問目的が異なるため、「研修時の安全対策」については調査していない。



調査の概要

- 調査期間 2007.4.13-2007.7.31
- 調査国 Scotland, England, Switzerland, France, Germany, Austria, Canada, USA
- 調査場所(時系列表示) 40ヶ所
Edinburgh > Perth > Edinburgh > London > Glasgow > Edinburgh > Zurich > Niedendorrf > Munich > Niedendorf > Vienna > **Chamonix** > Zurich > Bern > Zurich > Exeter > Brixham > Windermere > Carlisle > Keswick > Ambleside > Patterdale > Windermere > **Plas-y-brenin** > London > Calgary > Canmore > Banff > Revelstoke > Calgary > Vancouver > Victoria > Vancouver > Halifax > Boston > New Hampshire > Newport News > Vancouver

ENSAとPlas-y-brenin

- シャモニーにあるENSAはJean franck (ENSA教員でかつUIAAのSafety Commissionの委員長)の紹介で滞在し、登山道具の試験法の調査を行った。
- 一方、ウエールズのPlas-y-breninでは、主に Steve氏、John氏、Mal氏らと、遭対活動や、山岳リーダーの教育について議論した。
- ここでは、主に、イギリスでの登山技術教育を中心に、紹介する。
- そこで、主な施設と関係者、そして教育の概要を紹介し、併せて、UIAAでのリーダー教育の標準化についてもふれていきたい。
- なお、リーダー教育については、標準化の流れの中でフランス、イギリスともにENSAで統一化されているため、同じようなものと推測している。

ENSAの風景・人

ECOLE NATIONALE DE SKI ET D'ALPINISM

フランスにある国立スキー登山学校

* Jean Frank Charlet

UIAA Safety ComのPresident

* Prof. Bruno Fleury



ENSAの外観 高いビルが寮、丸屋根が本部



ENSAのエントランス風景、ドア右に受付がある